



【当初予算】
資料 1

令和7年度 当初予算案のポイント

「守山に住んでいて良かった」
と実感できるサステナブルなまちづくり
～将来を見据えた大規模プロジェクト（攻め）と
市民に身近で寄り添った施策（守り）～

滋賀県守山市



当初予算案の規模

(単位：千円)

	令和7年度	令和6年度	増減額	対前年度比率	
予算総額	58,046,035	56,710,924	1,335,111	2.4%	
内訳	一般会計	36,820,000	35,500,000	1,320,000	3.7%
	特別会計	14,302,600	14,525,700	▲223,100	▲1.5%
	公営企業会計	6,923,435	6,685,224	238,211	3.6%

※公営企業は、収益的収支と資本的収支の合計です。

- 国の補正により前倒して実施する3月補正（速野小学校長寿命化改良事業など）と合わせた場合の予算規模

当初：368.2億円 + 3月補正分：約14億円 ⇒ 約382.2億円

当初予算規模として368.2億円は**過去最大**

大胆（攻め）、かつ、きめ細やかに（守り）

各種福祉施策、農漁業や商工業振興、インフラの維持・整備、環境、衛生、上下水道等市民生活を支える施策を引続き着実に進めるなか、下記のような新たな取組も積極的に展開していきます。

守山の将来を見据えた 大規模プロジェクト（攻め）

- 守山の将来像の議論・検討(P12)
 - 長期ビジョンや都市計画マスタープランの見直し
 - 市民交流ゾーンのあり方や湖岸の活性化推進
- JR守山駅東口再整備事業の推進と西口ロータリー渋滞対策(P13)
- 子育て支援に係るハード整備
 - 待機児童解消に向けた保育所整備(P8)
 - 子育て支援拠点施設（平和堂）(P9)
- 教育関係施設に係るハード整備
 - 速野小学校長寿命化・守山中学校体育館予防改修、中学校体育館空調設備整備（P18）
 - 小中学校プール集約化(P11)
 - 市民ホール大規模改修(P11)
- 環境学習都市宣言記念公園整備(P24)
- 大門野尻線道路整備(P24) など

市民に身近で寄り添った きめ細かい施策（守り）

- 自治会や市民活動団体の活動支援の充実(P7)
 - 「わ」で輝く自治会応援報償事業
 - 美化支援、ごみのない美しいまち
 - 市民活動団体等施設使用料減免
- こどもの居場所づくりや産前産後サポート
 - こどもの居場所づくり(P10)
 - 子育て応援家事サポート(P17)
- 地域での支え合いによる高齢者福祉推進
 - 自治会支え合い活動応援事業(P6)
 - 高齢者移動支援、ごみ出し支援(P6,7)
- 生活支援や相談支援体制、障害児の発達支援等の充実による障害者福祉推進(P21)
- ひきこもりアウトリーチ支援施策(P22)
- 不登校対策の充実(P19)
- SSRの環境整備、やすらぎ支援員拡充
- 地域交通対策の充実(P23)
 - もーりーカーの利便性向上
- 地域防災力の強化(P25) など

令和7年度の
その他の特色として

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(P14)の開催や
「戦後80年守山市平和都市宣言推進事業」(P31)

■ 「4本柱」に基づき、将来を見据えた大規模プロジェクトと子育て環境や地域活動支援の充実など市民に寄り添った施策に注力した過去最大の当初予算案となりました。

1. 子育てするなら守山！

※太字下線はクローズアップ事業

待機児童対策
子育て環境の充実
不登校対策
教育施設大規模改修
産前産後支援の充実

ハード（法人立保育園、小規模保育事業所）、ソフト（保育士定着化・確保）
地域子育て支援拠点整備、こどもの居場所づくり、幼稚園給食提供開始
やすらぎ支援員増員配置、校内教育支援センター（SSR）設置促進
プール集約化、中学校体育館空調設備整備、守山中学校体育館予防改修
産前産後の子育て応援家事サポート、産後ケア、1か月児健診の開始

2. 住むなら守山！

福祉施策の充実
地域インフラの充実
地域防災力の強化

補聴器購入助成開始、介護職員就職支援、ひきこもり支援体制の充実
もーりーカー制度拡充、環境学習都市宣言記念公園整備、大門野尻線整備
防災行政無線整備、消防団中洲分団車庫詰所新築工事、個別避難計画策定

3. 働くなら守山！

守山の将来像検討
市内産業への支援
担い手不足への対応

駅周辺整備の議論・検討、長期ビジョン、都市計画マスタープラン見直し
つなぐ守山産業振興イベント支援、空き店舗等活用、中小企業等デジタル化促進
地域事業者連携促進事業、人材確保支援事業費補助金

4. 市民が主役の守山！

地域活動支援の充実
文化活動の拠点整備
国スポ・障スポ
平和学習の充実
環境学習都市への取組

自治会支え合い活動応援、高齢者移動支援、ゴミ出し支援、「わ」報償
守山市民ホール大規模改修事業
大会運営、大会施設整備、自転車活用観光
戦後80年守山市平和都市宣言推進事業
再エネ・省エネ設備等導入促進補助金、エコフェスタ、親子脱炭素フォーラム

⇒ 「4本柱」に基づく具体的な施策は次ページ以降を参照ください！



《クローズアップ事業》

【クローズアップ①】

地域活動支援の充実①

なぜ今、地域活動支援の充実なのか～支え合いのまちづくりに向けた市の考え～

守山市は全国でも有数の自治会加入率を誇り、自治会中心のまちづくりにより、地域の絆が維持され、住みやすいまちとして発展してきました。

しかし、共働きや核家族の増加、働く期間の延長、価値観の多様化等により様々な地域活動における担い手不足が顕在化し、気候変動の影響による酷暑の長期化や人口増加ペースの鈍化等も相まって、今まで通りのやり方では地域活動の安定的継続が困難になると考えられます。

それでは、地域活動を全て行政で（税金で）代替することができるでしょうか？残念ながら、それは財源的にもマンパワー的にも、難しい状況です。

「誰かがやってくれる」ではなく「みんなで支え合いながら」まちづくりを推進していきたい。そのためにも、行政が必要な支援・後押しをして、行政と市民と一緒に工夫しながら、「守山に住んでいて良かった」と実感できる支え合いのまちづくりを推進していきたい。そんな思いで、令和7年度当初予算案では「地域活動支援」の充実に力を注ぎました。

市民の力、地域の絆が強く、地域を想う市民が多くお住まいの守山だから。高齢化率も比較的 low、まだ余力のある今だから。市民の皆さまと一緒に支え合いのまちづくりを推進します。

（新）自治会支え合い活動応援事業 3,000千円

高齢者等の日常生活におけるちょっとした困りごとへのボランティア支援を実施する自治会の取組を応援することで、地域における支え合い活動の推進を図り、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活し続けられる社会の実現を目指します。

長寿政策課 担当 木村・青木
連絡先 077-584-5474

（新）高齢者等移動支援事業 2,425千円

外出が困難な高齢者等に対し、地域住民が主体となって必要な移動を支援する取組について、現在取り組んでいただいている学区に活動支援を行うとともに、この取組を市内全域に広げるため、新たに仕組みを立ち上げる学区に対し、車両の貸出し等の支援を行い、高齢者等の移動手段の確保を図ります。



長寿政策課 担当 木村・青木 連絡先 077-584-5474

予算 29,546千円（県315千円）

**【クローズアップ①】
地域活動支援の充実②****（新）高齢者等ごみ出し支援事業 444千円**

ごみを集積所まで排出することが困難な高齢者等に対し、新たに前日の午後4時以降にごみ出しができる「前日ごみ出し制度」を創設することで、介護サービスや同居外家族等のごみ出し支援を受けやすい環境を整備します。

ごみ減量推進課 担当 村上・岸田 連絡先 077-584-4692 長寿政策課 担当 青木 連絡先 077-584-5474

（新）美化支援（草刈機具の貸出等）5,385千円

草刈機具の貸出や美化作業員の新規配置により、地域での美化作業を支援します。

道路河川課 担当 井野 連絡先 077-582-1157

（拡充）ごみのない美しい街づくり運動報償金 3,125千円

新たに重機や軽トラ等の運搬車両の借上等への支援を行います。

ごみ減量推進課 担当 村上 連絡先 077-584-4692

（新）市民活動団体等の施設使用料減免制度の拡充

本市のまちづくり等に貢献する取組を行う団体の活動を応援するため施設使用料の一部を減免します。

- ・対象施設：公民館、エルセンター、図書館、市民交流センター、エコパーク（直営部分のみ）
- ・対象者：地域課題の解決、社会貢献活動など本市のまちづくりに貢献する取組を行う団体
- ・減免額：施設使用料の50%を減免（光熱費、備品費等は対象外）※減免適用には事前の認定が必要

市民協働課 担当 吉野 連絡先 077-582-1149 社会教育・文化振興課 担当 川中 連絡先 077-582-1142

**「わ」で輝く自治会応援報償事業 20,000千円**

地域の課題解決につながる地域ぐるみによるまちづくりの取組の展開や、地域の自発的で主体的な活動を奨励することを目的に報償金を支給し、自治会の取組を支援します。

市民協働課 担当 柿木 連絡先 077-582-1148

地域学校協働活動事業（こども応援団）592千円

地域と学校が連携・協働し、保護者や地域住民等のこども応援団の参加により、地域全体で子どもたちの成長を支える地域学校協働活動事業を市内全小中学校で推進します。

社会教育・文化振興課 担当 藤田 連絡先077-582-1142

【クローズアップ②】

子育て環境の充実（待機児童対策）

予算 474,694千円（国199,011千円 県33,188千円 基85,200千円 債47,400千円）

待機児童解消に向けて保育所2か所の整備、保育士の確保と定着化を実施します。

■（新）保育所の整備 予算250,821千円

園名	小規模保育所（園名未定）	（仮称）認可保育園守山こども芸術大学
開所時期	令和7年7月	令和8年4月
場所	関西みらい銀行跡地	立入が丘小学校隣地
定員	19名（0歳から2歳の小規模保育事業）	90名（0歳から5歳）
運営法人	社会福祉法人洛和福祉会	学校法人瓜生山学園
予算措置	守山市地域型保育事業費補助金 3,750千円	守山市就学前教育・保育施設整備費補助金 247,071千円

こども政策課 担当 穎娃 連絡先 077-584-5925

■（拡充）保育士の定着化と確保に関する支援制度 予算223,873千円

定着化

保育士 ケア

- ・低年齢児保育事業（国基準以上の職員配置）**（公）**（民）**** **84,240千円**
- ・もりやま手当（市独自の手当支給）**〔R6拡充〕**（民）**** **51,805千円**
- ・保育士保育料補助金 **〔R5創設、R6幼稚園教諭拡充〕**（公）**（民）**** **10,831千円****

『定着化』 予算合計
146,876千円

※主なものを抜粋

確保

保育士 ケア の 推 進



- 1 保育士への支援（民間園勤務等条件あり）
 - ①新規採用保育士等臨時給付金 **〔R5拡充〕**（民）**** **13,300千円**
 - ②保育士等奨学金返還支援事業費補助金 **〔R5拡充〕**（公）**（民）**** **8,160千円****
- 2 民間園への支援
 - ①保育補助者雇上強化事業補助金 **〔R7新規〕** **35,805千円**
 - ②宿舍借上げ支援事業費補助金 **〔H29～〕** **14,732千円**
 - ③保育士等確保事業費補助金 **〔R2～〕** **5,000千円**

『確保』 予算合計
76,997千円

保育幼稚園課 担当 安田
連絡先077-582-1129

子育て環境の充実（こどもの居場所づくり）①

予算 164,665千円（国66,502千円 県1,944千円 基34,000千円 債60,400千円）

（新）地域子育て支援拠点施設整備

“気軽に立ち寄り『交流・相談・息抜き・学べる』子育て広場”

子育ての不安を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援するため、「親子同士の交流」、「子育て相談」や「子育て支援の情報発信」のほか、子育てサークルなどの活動、親の息抜き、趣味や仕事にも利用できる多目的室などを備えた子育て支援拠点施設を整備します。

施設概要

- ・場所 建替後の平和堂守山店内
- ・面積 約511㎡
- ・開設 令和7年11月オープン予定

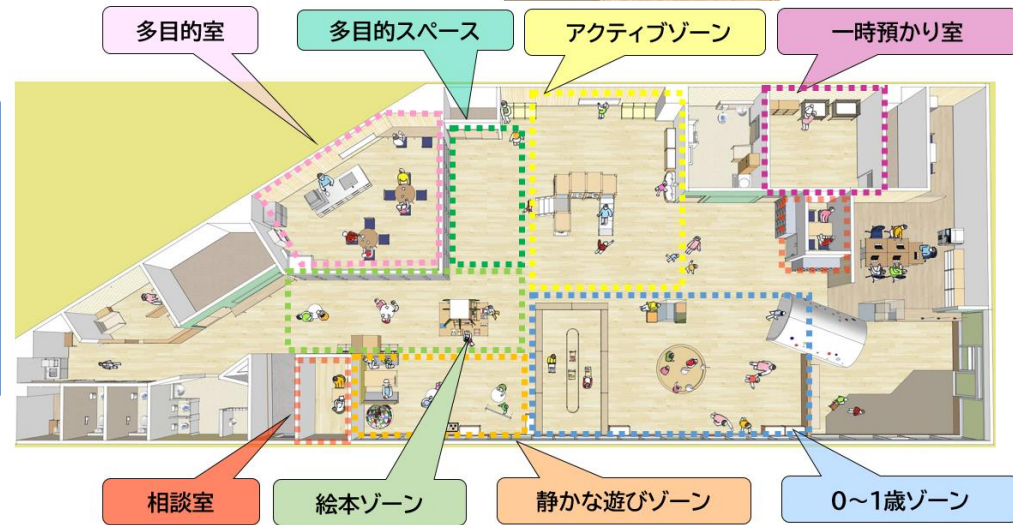
機能

- ・遊びの広場、多目的室、相談室など
- ・子育て相談
- ・一時預かり事業
- ・子育てサークルの活動の場
- ・子育て情報の発信

○整備事業費 137,129千円

○運営費（指定管理料等）

27,536千円



こども政策課 担当 寺西 連絡先 077-584-5925

子育て環境の充実（こどもの居場所づくり）②

予算 13,052千円（国1,000千円 基6,000千円）

（新）小学生の放課後の居場所づくり事業 7,700千円

児童の放課後の居場所について、専門的な知識・ノウハウを活用するなか、放課後児童クラブにおける待機児童の解消とともに、放課後児童クラブに限らない、学校施設全体を活用した新たな放課後の居場所づくりを検討します。

こども政策課 担当 穎娃 連絡先 077-584-5925

（新）中高生の憩いの場「IKOI」実証実験事業 150千円

中高生サミット2024で提言のあった学びと遊びの共存する中高生の憩いの場「IKOI」を学生自らが運営実施

期 間：令和7年6月、10月予定 ※1か月間の実証実験を2回実施
週2日（月・水） 16時～19時

会 場：市役所1F多目的ホール

企画政策課 担当 大寄 連絡先 077-582-1162



（拡充）こどもの居場所・学習支援事業 3,700千円

居場所を必要とする子どもの生活向上のため、学習できる場所、安心できる場所、人とつながれる場所の提供を、現在の南部（浮気町）に加え、新たに夏休みなど長期休暇期間中において、北部地域をモデルとした事業（全7回）を実施します。

こども家庭相談課 担当 平 連絡先 077-582-1159

（新）図書館集会室の開放 1,502千円

土・日・祝、長期休みに図書館(本館・「本の森」)の集会室を、学習コーナーとして開放します！

期 間：6月1日（日）開始予定

*貸館の利用がない日のみ開放します。予約不要です。

場 所：図書館（本館・「本の森」）1階集会室

図書館 担当 天谷 連絡先 077-583-1639



(新) 小中学校プール集約化事業 29,189千円

老朽化している学校屋外プールの集約施設を新設し、小中学校の水泳授業を、エコパーク・民間施設・学校プール集約施設に段階的に移行します。

令和7年度は、新設するプール集約施設（屋内プール）の基本設計、令和8年度には実施設計を行います。

- ・ 基本設計 29,157千円
- ・ 実施設計 68,181千円 (債務負担)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
解体・埋蔵文化財調査	➡		
設計 (基本・実施)	➡➡➡		
工事			➡➡➡➡

教育総務課 担当 山寄 連絡先 077-582-1140

(新) 守山市民ホール大規模改修事業 139,668千円

開館から40年が経とうとしている守山市民ホールの大規模改修に向けて、令和7年度は基本設計等および管理運営に関する方針の策定、令和8年度には実施設計等を行います。

令和9年度には、大規模改修工事を着工し、令和11年秋の開館に向けて取り組みます。

- ・ 基本設計等 127,000千円
- ・ 実施設計等 (債務負担) 235,000千円

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
基本設計	設計 策定	基本設計			
実施設計		実施設計			
工事施工			入札 準備	施工期間	★竣工引き渡し
休館期間			準備	休館期間	★開館



社会教育・文化振興課 担当 川中・山本 連絡先 077-582-1142

守山の将来像の議論・検討①

予算 13,169千円

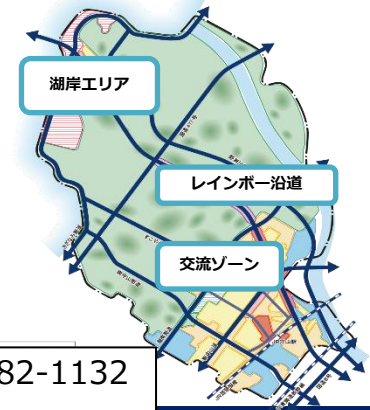
守山市長期ビジョン2035の策定業務 6,169千円

人口増加の鈍化やあらゆる地域活動での担い手不足、進む企業誘致や商業開発等、今が本市のまちづくりにとって時代の転換点であるとの認識の下、10年先の2035年の目指すまちの将来像や方向性をバックキャストで描く長期ビジョンの計画策定に取り組みます。

企画政策課 担当 田中 連絡先 077-582-1162

(新) 都市計画マスタープランの見直し 7,000千円
令和8年度 7,000千円 (債務負担)

利便性の高い重要な土地である市民交流ゾーン、交通の要衝であるレインボーロード沿道、観光・レクリエーション地である湖岸エリア等を含む今後の守山市全体のまちづくりの方針を示すため都市計画マスタープランの見直しを行います。



都市計画・交通政策課 担当 田中・森岡 連絡先 077-582-1132

企業誘致や企業との連携

村田製作所をはじめとする新規進出企業や既存市内企業、スタートアップ企業等との連携・協力を積極的に進め、本市のさらなる活性化・発展に繋がる取組を進めます。

また、笠原産業用地造成事業については、地元や近隣自治会への住民説明会の開催や継続的な意見交換を行う中、懸念される課題の解決に丁寧に取り組みながら、詳細設計を進めます。

企業連携室 担当 三好 企業立地推進課 担当 杉本 連絡先 077-582-1165

守山の将来像の議論・検討②

予算 22,000千円

守山駅東口再整備事業

「**人が集まりつながる 憩いとにぎわいのあるまち**」をコンセプトに掲げ、5つの導入機能「**複合商業機能、ワークプレイス機能、広場（憩い・交流）機能、交通結節機能、東西アクセス機能**」を盛り込んだ守山駅東口再整備事業基本計画素案を取りまとめました。今後、市民の皆様の声を踏まえるなか、事業実現に向けた詳細な検討や合意形成に取り組みます。

守山駅東口再整備事業化検討および合意形成等支援業務 22,000千円

＜整備イメージ例＞



※本整備イメージは、1つの例であり、整備内容の詳細については、今後検討を行うなかで決定します。

西口ロータリー渋滞対策事業

昨年11月から12月に実施したロータリー内の横断歩道撤去の社会実験結果などを踏まえ、今後、渋滞緩和に向けた方針を策定するなかで取組を進めていきます。



国スポ・障スポ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025



予算 550,149千円 (国23,650千円、県130,000千円、債44,700千円、基19,000千円、他3,771千円)

国スポ開催 令和7年9月28日～10月8日 障スポ開催 令和7年10月25日～10月27日

・大会運営事業 459,354千円

【わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ守山市実行委員会負担金 451,000千円】

開催事業費

備品レンタル、設営撤去等

開催競技		開催日程
正式競技	バレーボール	令和7年9月28日～10月1日
	ソフトボール	令和7年9月29日～10月1日
	サッカー	令和7年10月3日～10月7日
	軟式野球	令和7年10月4日～10月5日

大会総務費

輸送交通、弁当、警備、宿泊等

・大会施設整備事業 90,300千円

【市民運動公園】第2・4駐車場舗装、歩道整備
【ビッグレイク】トイレ洋式化、屋外放送設備改修

・自転車活用観光事業 495千円

「国スポ、障スポ」に来訪する多くの方々を対象に、守山市ならではの体験や魅力を感じられるスポットを自転車で巡る市内観光ツアーを開催します。

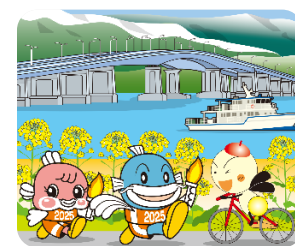
▶ 開催日:大会開催期間中の2日間〔午前・午後:計4回(予定)〕
* 詳細については、決まり次第、HP等でお知らせします。

広報啓発費

広報活動、啓発グッズ作成、イベント実施等
＜100日前イベント＞
国スポ・障スポ開催100日前に守山市開催競技の体験や各種イベント等を実施し、大会周知・啓発を図る。



スポーツ振興課 担当 筈本・灘野 連絡先 077-582-1169



商工観光課 担当 寺本・藤井 連絡先 077-582-1131



(クローズアップ事業以外の)

《「4本柱」ごとの主な施策》

給食提供による食育環境の充実

予算 585,551千円（国27,200千円 他（給食費）488,471千円）

（新）幼稚園給食開始（搬入方式） 113,751千円

同じ食事をみんなで分かち合うことで、食への意欲や関心を育み、子どもたちの健全な成長・発達を図るとともに、保護者の負担軽減にも繋げるため、幼稚園給食を開始します。



外部搬入給食委託料 101,783千円

施設外で調理した給食を搬入し、各クラスで配膳します。

人件費（配膳員） 11,968千円

給食の受取りや納品確認、配膳等を行う配膳員を各園に配置します。

保育幼稚園課 担当 民辻・西村 連絡先 077-582-1129

（臨）小中学校給食費の据置

食材費 471,800千円（うち、物価高騰交付金充当27,200千円）

食材の物価高騰が続くなか、令和7年度からの学校給食費の改定を行いました。国の物価高騰対策交付金を活用することにより、現行と同額に据え置き、引き続き安全安心な、おいしく温かい自校方式での学校給食の提供に取り組みます。

保健給食課 担当 神田・深尾 連絡先 077-582-1143

（新）産前産後の子育て応援家事サポート事業 4,162千円

産前産後の保護者の子育て負担軽減のため、民間事業者が行う家事支援に係る助成クーポンを配付し、子育て支援に取り組みます。

開始時期：令和7年9月（予定）

対象：妊婦、1歳未満（多胎児は3歳未満）の子どもがいる保護者

助成方法：妊婦1人につき2万円分、1歳未満の子ども1人につき2万円分、多胎児は1人につき6万円（2万円×3年分）の家事支援助成クーポンを配付



（拡充）産後ケア事業 3,647千円

生後1年未満の母子への心身のケアおよび育児等を支援するため、医療機関等への宿泊や通所、また助産師による自宅への訪問指導を行う産後ケアについて、県内集合契約により利用可能施設を増やすとともに、実施医療機関等に対しては多胎児加算などにより受け入れを促し、産後ケアを必要とする全ての産婦が利用できる体制を整えます。



（新）1か月児健診 3,988千円

これまでの妊婦健診や産婦健診、新生児聴覚検査の助成に加え、1か月児健診を実施し、産前産後の切れ目のない支援を充実します。



子育てするなら守山！

学校施設改修事業

予算 1,651,774千円（国 227,639千円、債1,063,500千円、基352,000千円）

（新）中学校体育館空調設備整備工事 363,300千円

市内全中学校に、停電時も運転が可能な
電源自立型空調設備（エアコン）を設置します。

中学校体育館は、夏休み中に部活動で体育館を使用するほか、災害発生時には避難所としても使用するため、優先して整備を行います。守山南、守山北、明富中学校は本事業で、守山中学校は予防改修工事の中で実施します。



（新）守山中学校体育館予防改修工事

（R7.3月補正）352,500千円

建物の長寿命化を図るため、
予防的な外部改修（防水塗装やひび割れ補修）と**電源自立型空調設備（エアコン）**を設置します。



（新）速野小学校長寿命化改修工事

（R7.3月補正含）935,974千円

昭和59年に増築された北校舎部分が築後40年を経過し、施設および設備等の老朽化が進んでいることから、教育環境の充実を図るため、
長寿命化改修を行います。



児童生徒が **安心して過ごせる居場所づくり** に取り組みます。

(拡充) 教育支援センター
校内教育支援センター
(SSR) の環境整備
【予算：3,746千円】



「教育支援センター」
追加の備品整備

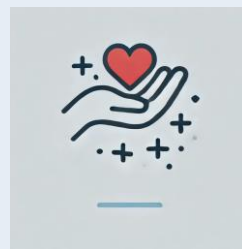
「小中学校の校内教育支援センター」
各校の状況を踏まえ、
SSRへの
更なる備品整備

(拡充) やすらぎ支援
相談員の配置拡充
【予算：11,132千円】



「小学校」
R6:各小学校週3日1名配置
ただし、河西・速野は週5日1名
⇒ 5校を週5日に拡充
(玉津・中洲除く)
「中学校」
R6:各中学校週3日・週4日を1
名ずつ配置
⇒ 守山南中に
週3日1名追加配置

(新) こころの健康観察
【予算：校務系用端末・校
務系支援システムに含む】



「1人1台端末の活用」
健康観察・教育相談
システム
ここタンの導入

児童生徒の心の状態を
可視化し、早期のケア、
適切な支援

フリースクール等利用
児童生徒支援
【予算：3,000千円】



「認定事業者」
10者 (1月末現在)

認定事業者の拡充を図り、
家庭や学校以外での
居場所づくり、学習
機会の確保

(新) 第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業 5,500千円

2,900千円 (債務負担)

第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和9年度～令和11年度）の策定に向けて、サービス利用状況に関する情報収集やサービス量の推計等を把握するため、アンケートを実施します。

長寿政策課 担当 青木 連絡先 077-584-5474
介護保険課 担当 森藤・石塚 連絡先 077-582-1127

(新) 高齢者補聴器購入費助成事業 1,696千円

加齢による聴力の低下により、日常生活に支障のある高齢者へ補聴器の高齢者の生活支援や社会参加の促進を図るため、医師の意見書に基づき、補聴器技能者の在籍する店舗で購入した補聴器の購入費用の一部を助成します。

補助金額（上限）：非課税世帯40千円、課税世帯20千円

長寿政策課 担当 徳田 連絡先 077-584-5474



(拡充) 介護職員および介護支援専門員就職支援事業補助金 1,350千円

(拡充内容)

介護支援専門員（ケアマネージャ）の不足解消を図るため、新たに居宅介護支援事業所に就職する方を対象とし就職支援事業補助金を交付します。

対象資格	介護支援専門員	
勤務時間	週35時間以上	週20時間以上35時間未満
補助額	20万円	10万円

介護保険課 担当 林 連絡先：077-582-1127

その他、新たに「自治会支え合い活動応援事業」「高齢者等移動支援事業」「高齢者ごみ出し支援事業」など地域で支え合う高齢者支援の取組を後押しします。

障害福祉サービスの充実

予算 2,583,951千円（国1,288,495千円、県644,247千円）

（新）障害福祉プラン2027策定支援業務 **3,562千円**
3,400千円（債務負担）

障害福祉プラン2027（障害者計画（令和9年度～令和14年度）、障害福祉計画・障害児福祉計画（令和9年度～令和11年度））の策定に向けて、実態に即したものとなるよう、障害のある人のニーズやサービス量の推計等を把握するためのアンケートを実施します。

（新）手話通訳者をめざす人のスキルアップ講座 **538千円**

市が実施する手話奉仕員養成講座（基礎）修了生を対象とし、県の手話通訳者養成講座受講資格を取得するためのスキルアップ講座を開催し、手話通訳者の養成をめざします。



障害福祉サービス事業費 **1,831,630千円**

障害者総合支援法に基づく生活介護やグループホームなどの障害福祉サービスの給付を行い、生活支援や相談支援の充実を図ります。

生活介護事業
548,559千円
グループホーム
312,672千円

障害児通所サービス事業費 **744,821千円**

児童福祉法に基づく児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児通所サービスの給付を行い、発達支援や相談支援の充実を図ります。

児童発達支援事業
43,700千円
放課後等デイサービス事業
686,500千円



住むなら守山！

状況に合わせたアウトリーチ支援によるひきこもり支援

予算 6,566千円（国3,283千円、県1,641千円）

ご本人やご家族の状況に合わせ、関係機関と連携し、寄り添った支援を行います。

個別相談
アウトリーチ

ご本人の状況（目安）

- ・自宅から出られない
- ・家族以外とは話せない

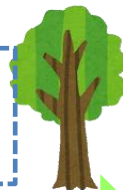
相談
居場所
安心できる場所

- ・慣れた場所なら外出できる
- ・慣れた人とは話せる

相談
居場所
収入を得られる場所
（おこづかい）

相談
居場所
収入を得られる場所
（生活費）

- ・必要があれば外出や会話ができる
- ・収入を得たい、仕事に就きたい気持ちがある



○支援の全体像○

<相談支援>

- ・専任の相談員の配置
- ・アウトリーチ支援（自宅訪問や市役所以外での面談）

【拡充】

- ・相談体制の拡充
（R6：3,220千円→R7:6,566千円）
- ・就労体験受入れ企業等への謝礼金の創出
（R7：45千円）



<居場所づくり>

- ・守山ほたるサポート事業
- ・ほたるの広場
- ・Café INK Moriyama 他



<当事者会 家族会の開催>

- ・内職、調理実習
- ・農作業、工場見学、体験作業
- ・就労体験 他

<普及啓発等>

- ・守山市ひきこもり支援ガイドブックの発行
- ・市社会福祉協議会のアンケート調査を踏まえた支援策の検討 他



地域交通対策の充実

予算 56,625千円（県2,472千円、基1,000千円）

（拡充） もりーカーの利便性向上 49,000千円

4月から、利用者の利便性向上を目的に、もりーカーの目的地に市外を含む商業施設を大幅に追加する等の制度改善を実施します。

（新） もりーカー制度全体の見直し 5,200千円

AIシステムの導入等を含むもりーカー制度全体の見直しの検討に向けた、利用状況等の調査を実施します。

目的地
(市外含む商業施設)

1施設



14施設
(R7.4~予定)



都市計画・交通政策課 担当 大崎 連絡先 077-582-1132

（再掲） （新） 高齢者等移動支援事業 2,425千円

外出が困難な高齢者等に対し、地域住民が主体となって必要な移動を支援する事業について、現在取り組んでいただいている学区に活動支援を行うとともに、この取組を市内全域に広げるため、新たに仕組みを立ち上げる学区に対し、車両の貸出し等の支援を行い、高齢者等の移動手段の確保を図ります。



長寿政策課 担当 木村・青木 連絡先 077-584-5474

住むなら守山！

インフラ（公園・道路）整備による住みやすさの充実

予算 608,657千円（国99,328千円、債344,400千円、基105,000千円）

環境学習都市宣言記念公園整備事業 500,000千円

環境施設の付帯施設として、地域の魅力向上や多くの市民が憩い、集うことで市民に愛される施設として、「環境」「健康」「交流」をコンセプトに整備を進めています。

- 令和7年度整備内容
多目的グラウンド、少年サッカー場、
陸上100mレーン
※令和7年度末の完成予定



土木管理課 担当 田中 連絡先 077-582-1134

大門野尻線道路整備工事 108,657千円

東西方向へのアクセス機能向上や渋滞緩和を目的とし、JR琵琶湖線の下を掘り下げ、二町播磨田線(新中山道)と下鈎千代線(大宝東小学校)を結ぶ道路整備について令和9年度供用開始を目指して栗東市と共同して進めています。



道路河川課 担当 真野 連絡先 077-582-1157

地域防災力の強化

予算 173,838千円（債165,000千円、基8,000千円）

能登半島地震で顕在化した課題等を踏まえ、現在、地域防災計画の改定を進めており、改定を受けて、災害時における職員の初動体制等をより実効性の高いマニュアルへと見直すとともに、備蓄の見直し、受援計画の策定、民間事業者との災害協定締結等を進めます。併せて、下記の事業推進等により、更なる地域防災力の強化を図ります。

個別避難計画【作成推進】

災害時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者の状況把握と、避難支援者や避難場所等をあらかじめ決定し避難の実行性を高めるため、個別避難計画の作成を推進します。

- ・重症度の高い方は市主体で計画を作成【継続】
- ・自身や地域等でも計画を作成いただけるよう、作成支援を実施【新規】

(新) 防災行政無線整備事業 114,000千円

災害時等に情報が伝わりにくい方(携帯電話を所有していない高齢者や障害者など)に対して、本市が伝えるべき情報(避難情報や地震速報など)を迅速に伝達できる体制を整備します。

- ・市庁舎へ親局整備 1式
- ・戸別受信機導入 500台

個別避難計画作成等と連動する中で必要な方へ戸別受信機の貸与を進めます。

(新) 守山市消防団中洲分団車庫詰所新築工事 59,800千円

築30年以上が経過する中洲分団車庫詰所の建替工事を実施します。市消防団は消火活動だけでなく、地震や風水害への対応をはじめ、平時には住民への指導や広報等、地域に密着した活動を展開。※地域防災力の要である消防団の拠点施設を再整備します。



働くなら守山！

農業・漁業への支援①

予算10,955千円

モリヤマメロンパッケージ支援 (モリヤマメロン新規就農者包括支援補助金)

3,486千円

モリヤマメロンの安定的な供給および産地拡大によるブランド力の維持ならびに新規就農者を確保することを目的に、家賃、農地代、機械取得等の補助に加えて、トレーニングハウス研修費用の補助など栽培に必要な経費について包括的に支援を行います。

補助率／上限額	50%～100%/最大2,538千円 (1名分) 支援期間… 1回～最大3年間 (メニューによる)
対象者	モリヤマメロンを専作する認定新規就農者等
補助内容	①家賃補助 ②空家活用助成金 ③農地補助 ④機械施設等取得補助 ⑤農業用資材補助 ⑥消耗品購入補助 ⑦生産技術指導補助 ⑧トレーニングハウス利用補助



アムスメロン



アールスメロン

地域おこし協力隊員による栽培研修

4,784千円

将来モリヤマメロン農家の担い手となるため、昨年度に引き続き地域おこし協力隊員 (小島さん) に栽培技術の向上や地域農産物PR等の活動に取り組んでいただきます。



守山産野菜新規就農者育成支援事業費補助金

2,585千円

主にモリヤマメロンの裏作として栽培されている野菜 (春菊、小松菜) を、トレーニングハウスや自分の圃場で生産した場合、必要な経費について支援を行います。

- ▶ 補助率 補助対象経費の **2分の1以内**
- ▶ 補助上限額 **最大500千円**



トレーニングハウス

(拡充) 耕作放棄地再生利用事業補助金

100千円

耕作放棄地を借りて新たに耕作される方に対して、耕作放棄地の解消にかかった費用の一部を支援していますが、今回補助上限額を拡充します。

- ▶ 補助率 補助対象経費の **2分の1以内**
- ▶ 補助上限額 **最大100千円/10a** (旧: 75千円)



農政課

担当

木下・大永・中島

連絡先 077-582-1130

農業人材のマッチング 385千円

農業の課題である後継者対策において、本市が出展している「就農フェア」の取組を通して、来場者が希望する「農業体験やアルバイト、就農希望」等の様々な想いに応えられるよう、市内の農業者の需要を調査する中、ニーズに即した労働力が確保できるよう試験的にマッチングを図ります。

▶ **就農フェア出展料 385千円** (左記費用の1/2をJAレーク滋賀が負担)



就農フェアの様子

漁業の振興 400千円

琵琶湖産魚介類の認知度向上および消費拡大を図るため、様々な体験機会の創出や、JAレーク滋賀の直売所である「おうみんち」を拠点とした直売活動の継続的な取り組みを推進するほか、近年漁獲量が回復しているホンモロコの消費拡大を図るべく、PR活動を展開します。

▶ **守山市水産振興事業補助金 (漁業協同組合へ補助) 400千円**



直売会の様子

産直マルシェの開催 (地産地消の推進)

新規就農者を中心とした農業者が直接農産物を市民にPRできる機会を創出するため、ライズヴィル都賀山と連携し、「つがやまマルシェ (仮称)」を定期的で開催し、地産地消の推進と消費者と生産者の顔をつなぐ取組を展開します。

マルシェでは、農産物の他飲食ブースや市内特産品等のPR等を実施する予定です。

▶ 開催日 毎月第3日曜日 (第1回目: 4月20日開催)



イメージ

「もりやま食のまちプロジェクト」の取組が全国優良事例地区30に選出されました

農業などで地域活性化等を行う団体に対して表彰を行う「第11回 ディスカバー農山漁村 (むら) の宝」において同団体が実施しているパール灰を使用したブランド野菜「もりやまびわ湖パール野菜」の取組みが、全国優良事例地区30に選出されました。

SDGsの観点から注目されているほか、地産地消の推進として市内学校給食にも納入されており、子どもたちに安全で安心な野菜の提供に繋がっています。

▶ **もりやま食のまちプロジェクトへの負担金 1,550千円**



報告会の様子

つなぐ守山産業振興イベント支援補助金

1,000千円

地域経済活性化、産業振興、事業者間における連携の推進およびにぎわい創出を図ることを目的に、市内において事業者団体が行うイベント事業に対し補助金を交付します。



- ▶ 補助率 補助対象経費の **2分の1以内**
- ▶ 補助上限額 **10万円**

中小企業等デジタル化促進補助金

4,000千円

持続可能な地域経済の活性化を図るため、中小企業等の新たな事業展開や経営基盤の確立等の事業活動に係るICTまたはIoTのデジタル技術活用に係る費用に対し補助金を交付します。



- ▶ 補助率 補助対象経費の **2分の1以内**
- ▶ 補助上限額 **20万円**

空き店舗等活用事業補助金

3,000千円

中心市街地における空き店舗等の入居を促進し集客力向上による賑わい創出に併せ、市内に出店する事業者への支援を目的に、改装費や賃借料に対し補助金を交付します。



- ▶ 補助率 補助対象経費の **10分の4以内**
- ※もりやま創業塾を修了された方は **10分の5以内**
- ▶ 補助上限額 **100万円**

信用保証料助成金

800千円

滋賀県制度融資「セーフティネット資金」を利用するにあたり支払われた信用保証料の一部を助成します。

- ▶ 補助率 補助対象経費の **2分の1以内**
- ▶ 補助上限額 **50万円**

滋賀県制度融資「開業資金」を利用するにあたり支払われた信用保証料の一部を助成します。

- ▶ 補助率 補助対象経費の **2分の1以内**
- ▶ 補助上限額 **30万円**

人材確保による担い手不足への対応

予算 83,612千円 (国13,224千円 県33,188千円)

(新) 地域事業者連携促進事業

880千円

夢・未来・元気塾での職員提案を参考に、人材不足に課題を持つ事業者と連携し、学生が事業者をツアー形式で訪れ、各事業者の魅力や取組み等を体験する「オープンカンパニー」を市内在住・在学の高校生に向け実施します。

また、地域で活躍する女性起業家や事業承継を経験された事業者と連携したオープンカンパニーもあわせて実施します。



企業連携室 担当 杉本 連絡先 077-582-1165

(拡充) 人材確保支援事業費補助金

4,000千円

市内企業における安定的な人材の確保を促進し、市内経済の推進を図ることを目的に、**求人サイト掲載**や**合同説明会への出展**等人材確保に必要な経費に対し補助金を交付します。

令和7年度からは、**採用動画の作成**や**非正規雇用者の確保**等に対する経費についても対象となるよう拡充します。



- ▶ 補助率 補助対象経費の **2分の1以内**
- ▶ 補助上限額 **20万円**

商工観光課 担当 藤田 連絡先 077-582-1131

(再掲) 介護職員および介護支援専門員就職支援事業補助金 1,350千円

新たに居宅介護支援事業所に就職する介護支援専門員（ケアマネージャー）を対象として、就職支援事業補助金を交付します。

介護保険課 担当 林
連絡先 077-582-1127

(再掲) 保育士確保事業

76,997千円

新規採用保育士等臨時給付金 **13,300千円**
保育士等奨学金返還支援事業費補助金

8,160千円

保育補助者雇上強化事業補助金

35,805千円

宿舍借上げ支援事業費補助金 **14,732千円**

保育士等確保事業費補助金 **5,000千円**

保育幼稚園課 担当 西村
連絡先 077-582-1129

(再掲) 農業人材のマッチング

385千円

課題である後継者対策として「就農フェア」の取り組みを通し、来場者が希望する「農業体験やアルバイト、就農希望」等のニーズや想いに応えるとともに、市内農業者の需要に即した労働力が確保できるよう試験的にマッチングを図ります。

農政課 担当 木下
連絡先 077-582-1130

起業家の集まるまちPRおよび官民連携伴走支援事業 2,970千円

「起業家の集まるまち」実現に向けた起業家交流イベントの開催、また官民連携プロジェクトサポート事業の情報発信や実証実験の伴走支援を行います。

(拡充) 次世代起業家育成共創プロジェクト事業 1,980千円

- ①本市の地域課題の解決を目指す起業家や企業のプロジェクト
- ②伴走する地域の高校生を募集し、行政・民間・学生での共創による地域活性化に取り組めます。

(拡充) 官民連携プロジェクトサポート補助金 4,000千円

本市をフィールドとした起業家や企業の実証実験に対し、実証実験に係る各種調整等のサポートや実施に必要な経費に対して補助金を交付します。

なお、令和7年度より2カ年にわたる事業に対して長期枠を新たに設置、募集します。

- ▶ 補助対象事業 本市を舞台とする地域や社会課題の解決を目指す実証実験
- ▶ 補助額（率） 上限100万円（補助対象経費の3分の2以内）
- ▶ 実証実験の期間

(通常枠) 令和7年採択日から令和8年2月末まで

(新設：長期枠) 令和7年採択日から令和9年2月末まで



企業連携室 担当 杉本 連絡先 077-582-1165

(新) 空き家対策事業 1,000千円

令和6年度に空き家対策の実証実験を実施した団体（市の指定した空家等管理活用支援法人）と連携し、さらなる自治会内の空き家の実態把握と利活用・管理等の相談体制づくりに取り組めます。

R6実証実験 対象：2自治会（今浜、杉江）

R7予算事業 対象：5自治会（予定）

企画政策課 担当 荒川 連絡先 077-582-1162

戦後80年 戦争の記憶を次世代につなごう～子どもたちに平和な世界を～
令和7年は戦後80年を迎える年であり、戦争の記憶が記録に変わりつつある今、二度と惨禍を繰り返さないためにも、市民が今一度「戦争の悲惨さ」と「平和の尊さ」を考え、今日の平和を次の世代に引き継げるよう平和の取組を一層推し進めていきます。

【拡充】戦後80年守山市平和都市宣言推進事業

【新】「戦後80年平和持続祈念碑」の設置 (除幕式8月6日)

「のどかな田園都市守山」平和都市宣言の趣旨を鑑み、恒久平和の祈念と戦没者等への追悼の意を表する「戦後80年平和持続祈念碑」を市民運動公園内の「平和の広場」に設置。

【新】戦争の傷跡に関する証言の映像化 (平和教育・学習の充実 9月～12月)

数少ない戦争体験者から戦争体験や被害の実相や戦争とのかかわりについて、戦争に関するモニュメントや傷跡が残る場で、語り部としてその証言を映像化。

小・中学校での平和教育や市民への平和学習として活用。

【拡充】各種平和都市宣言推進事業 (7月～2月)

【新】平和映画会 (市立図書館本館、北部図書館、守山市民ホール)

【新】平和講演会 (市人権同和・教育研究大会)
(地域総合センター人権講座)

平和図書特別コーナー (市立図書館本館、北部図書館)

平和のよここび展、平和を誓うつどい、ふれあいもりやま展 ほか

平和の広場 (イメージ)



通年事業

- 自治会人権・同和問題学習会 (5月～3月)
- 平和の祈念コーナー常設展示 (4月～3月)

人権政策課 担当 貝増 連絡先077-582-1116

健康福祉政策課 担当 田中 連絡先077-582-1123

「第3次環境基本計画」に基づき、2050年の脱炭素社会の実現、生物多様性の保全等に向け、市民、事業者、行政が一体となって取り組めます。

家庭用・中小企業等再エネ・省エネ設備等導入促進補助金 40,000千円

再生可能エネルギーの導入促進、徹底的な省エネルギー化を推進するため、太陽光発電システム、蓄電池システム、高効率エアコンなどの導入費用を補助します。



(新) 親子脱炭素アクションフォーラムの開催 800千円

脱炭素型ライフスタイルへの転換を図るため、市民（親子）向けのイベントを開催します。

(新) もりやまエコフェスタ5周年記念事業 3,500千円

オープンから5周年を迎えるもりやまエコパークにおいて記念事業を開催します。



(新) ほたるの森資料館建替えに向けた事前調査 2,542千円

老朽化が進むほたるの森資料館の建替えに向け、地盤等の事前調査を行います。その他、ほたるの自生に向けた調査・研究、ほたるの森において国の自然共生サイトの認定に向けた調査を行うなど生物多様性保全に向けた取組を推進します。



市民が集う市庁舎へ 「テラススペース」の開放と多目的ホールの活用

市庁舎では、市民等に多目的ホールの貸館を行っていますが、3月1日から試行的にテラススペースを開放します。今後は多目的ホールとテラススペースの一体的な使用も可能となることから、様々なイベントの開催も可能となり、多くの市民が集い、交流する場として使用していただくことで、にぎわいの創出を図ります。



☆ 使用スペース：約122㎡
(テラススペース北側)

☆ 使用時間：午前9時から午後5時

総務課 担当 尾崎・上島 連絡先 077-582-1111

開庁時間の見直し (変更後：9時～16時45分 変更前：8時30分～17時15分)

各種行政手続きの約9割(件数ベース)をオンライン化し、市民のみなさまの利便性をしっかりと確保する中、課題の共有や業務の見直しなどにかかる時間を確保し、窓口業務の改善を図るとともに、職員の働き方改革を推進します。

開始日 令和7年5月12日(月)

(対象施設) ■本庁舎 ■公文書館 ■発達支援センター
■地区会館・支所 ■地域総合センター ■市民交流センター
■エルセンター(生涯学習会館のみ) ■エコパーク交流拠点施設(市事務室のみ)
■環境センター(市事務室のみ)

・令和6年度末には各種行政手続きの約9割(件数ベース)がオンライン化

・自宅等でもできる手続きを順次追加中
オンライン申請(例) 窓口申請(就学援助費、水道開閉栓申請)
R7.4～ 粗大ごみ戸別収集申し込み

企画政策課 担当 大寄 連絡先 077-582-1162

「市役所駐車場の適正管理による混雑緩和(市役所利用者以外の駐車有料化)」

市役所利用者の利便性向上を目的に、駐車場の混雑緩和を図るため4月1日から市役所利用者以外の駐車を有料化します。

☆ 市役所利用者※1： **全て無料** (利用時間内)

※1 届出申請等での窓口利用者、市主催の会議等での利用者

☆ 1階 交流エリア利用者※2： **2時間無料**

※2 交流エリアでの打合せ等利用者、カフェ利用者
(ただし、市主催以外のイベント等利用者は除く)

無料券発行で
対応

時間帯	①午前8時から 午後6時まで	②午後6時から 午前8時まで
基本料金	1時間 220円	1時間 110円
最大料金	550円	220円

(1日最大料金770円。24時間ごとの繰り返し適用。)

☆ どなたでも**入庫後1時間は無料**

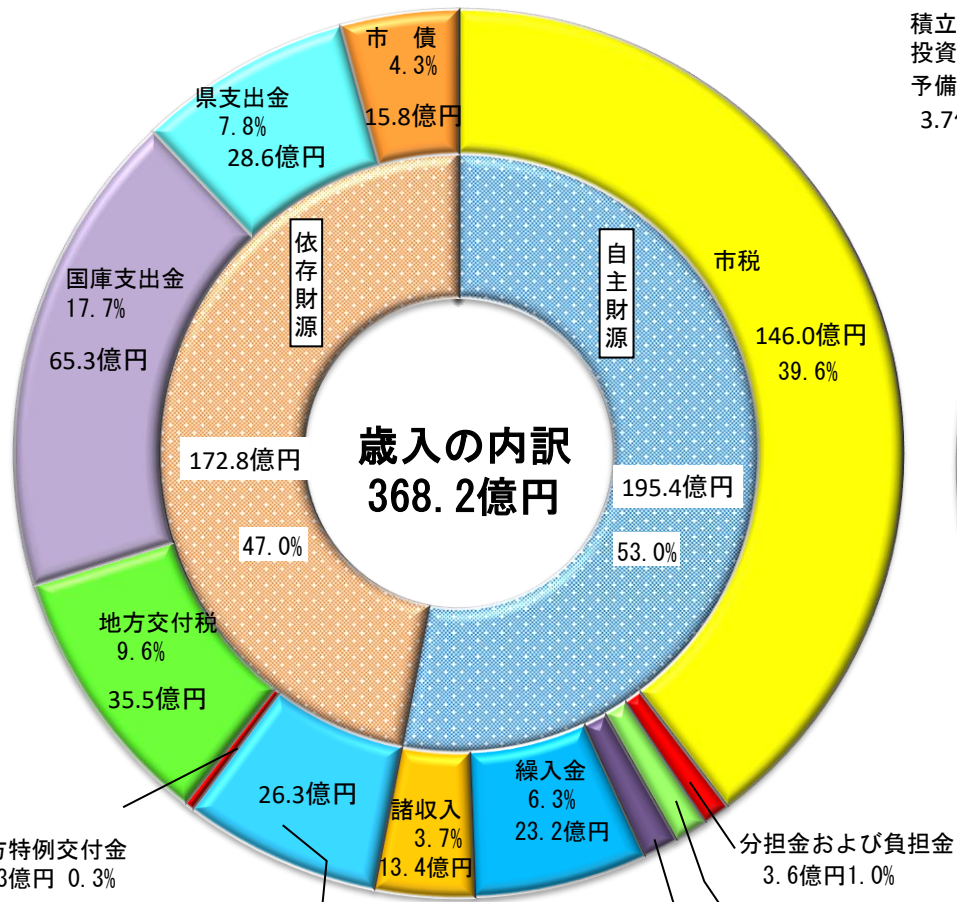
庁舎整備推進室 担当 姫野・上田 連絡先 077-584-5926



《参考資料》

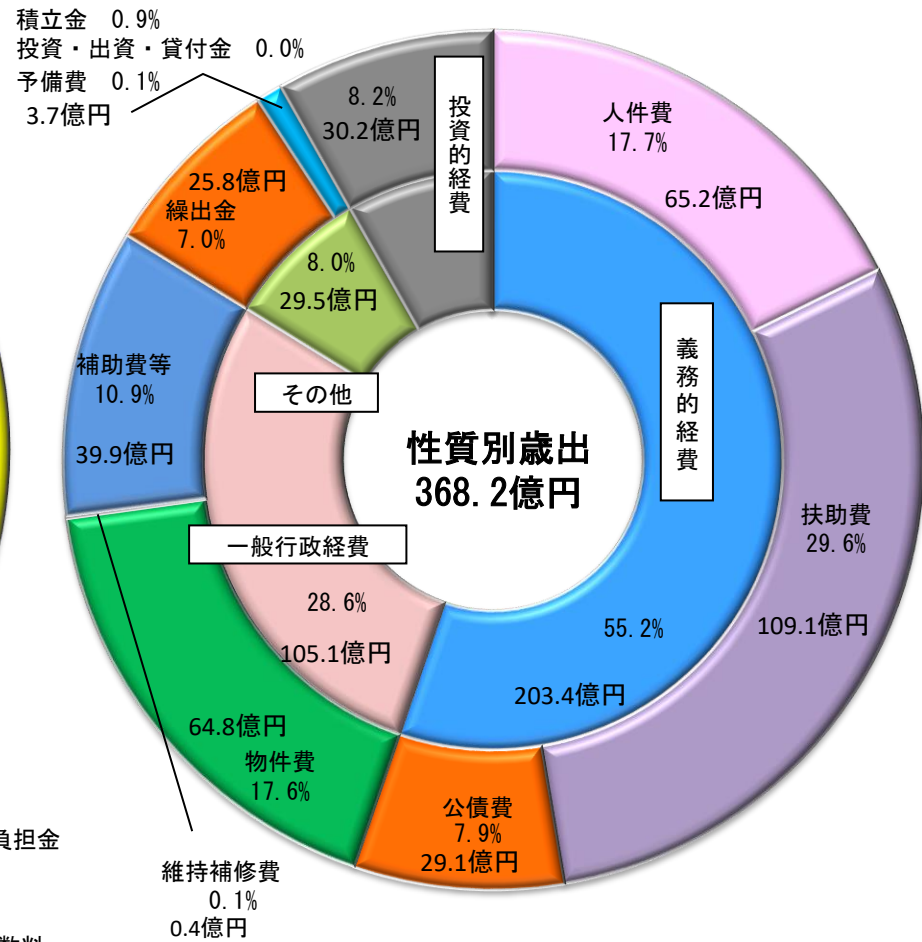


歳入歳出の内訳（一般会計）



地方譲与税	0.6%	利子割交付金	0.1%
配当割交付金	0.2%	株式等譲渡割交付金	0.2%
法人事業税交付金	0.6%	地方消費税交付金	5.3%
ゴルフ場利用税交付金	0.1%	環境性能割交付金	0.1%
交通安全対策特別交付金	0.1%		

財産収入	0.9億円	0.2%
寄付金	3.0億円	0.8%
繰越金	0.8億円	0.2%

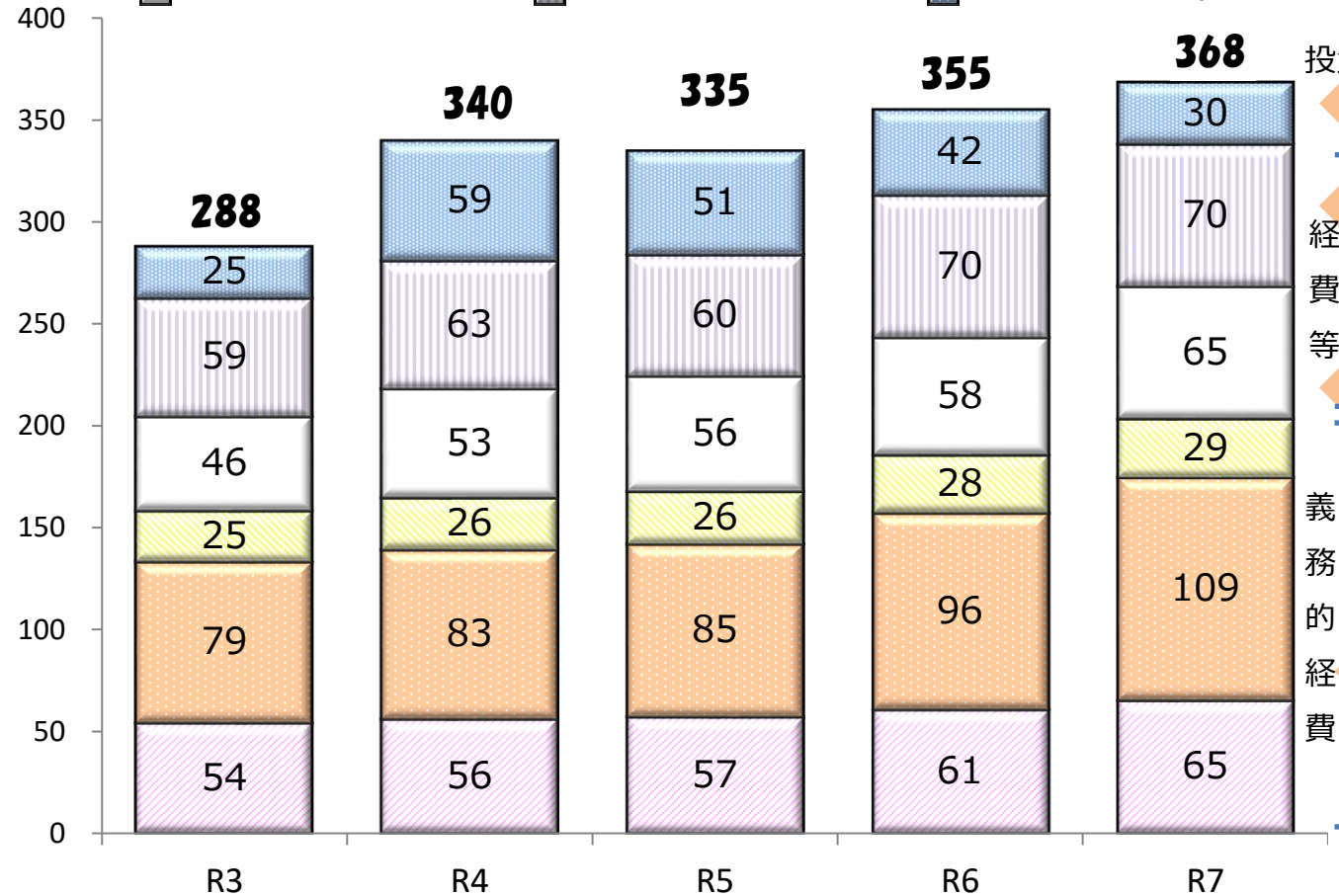




当初予算額の推移

(億円)

- 人件費
- 扶助費
- 公債費
- 普通建設事業費
- 物件費
- その他

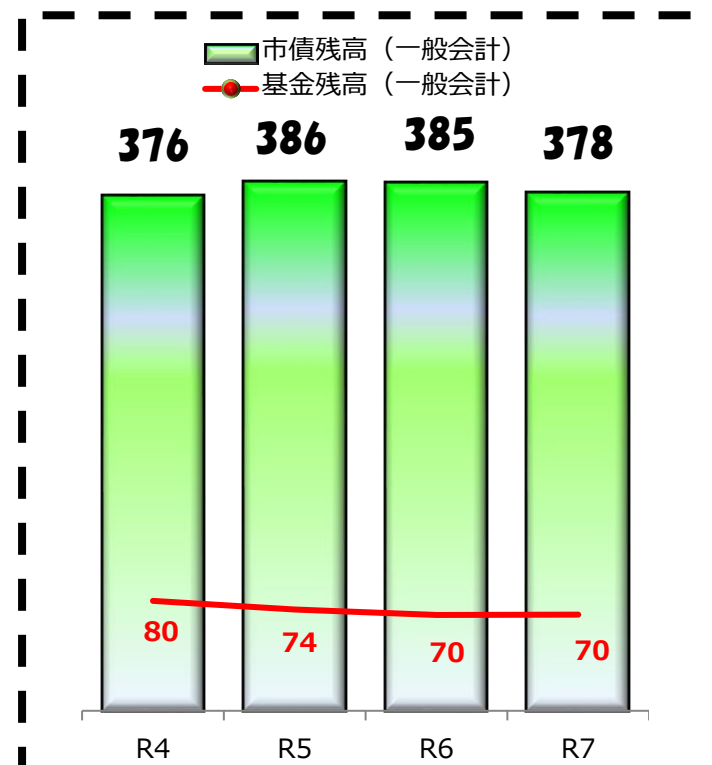
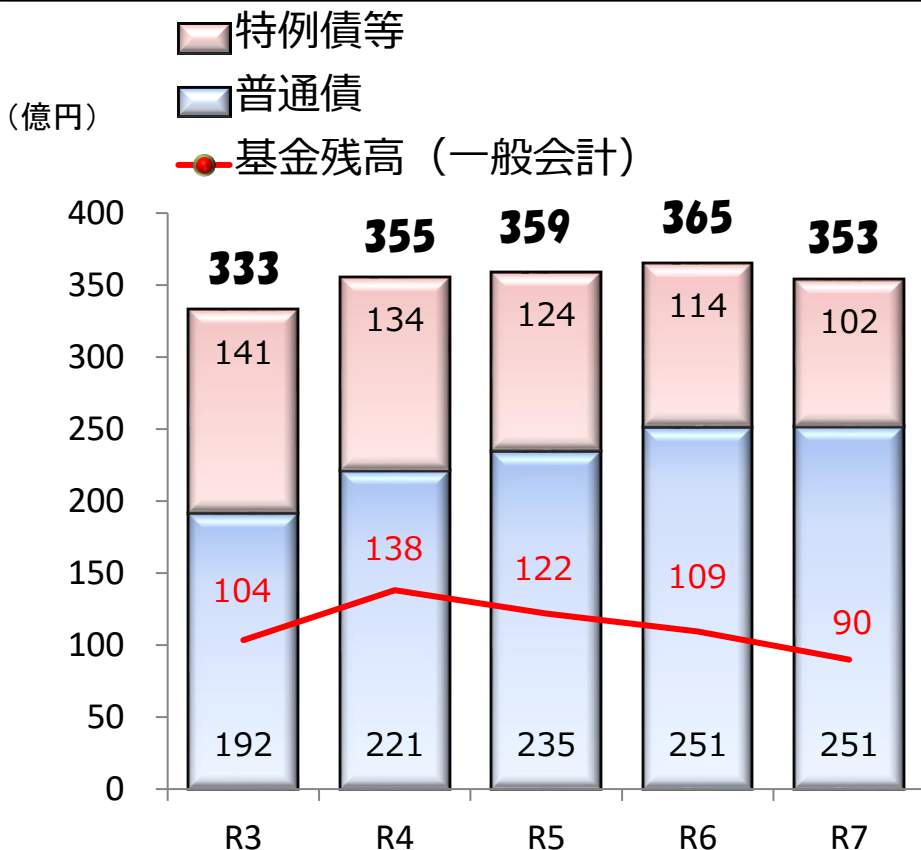


- 投資的経費**
 - 環境学習都市宣言記念公園整備事業 5.0億円
 - 中学校体育館空調設備整備事業 3.7億円
- 経費等**
 - 消防費負担金 8.9億円
 - 国スポ・障スポ大会事業費 4.5億円
- 義務的経費**
 - 情報システム運営事業費（標準化移行対応等）5.3億円
 - 予防接種事業費 4.7億円
 - 法人立保育園扶助 29.8億円
 - 児童手当支給事業費 22.4億円
 - 障害福祉サービス事業費 18.7億円



市債および基金残高の推移（一般会計）

- 市債残高は、環境施設更新事業や新庁舎整備事業等に伴い増加傾向が続いていましたが、令和7年度は臨時財対策債の新規発行の皆減等により減少に転じる見込みです。
- 基金残高については、従前から計画的に積み立ててきた基金を、引き続き公共施設整備・改修に活用するほか、財源不足の補填財源等として財政調整基金を活用することから減少する見込みですが、第5次財政改革プログラムで定めている基金残高70億円の水準を下回らないよう適切な財政運営を実施していきます。



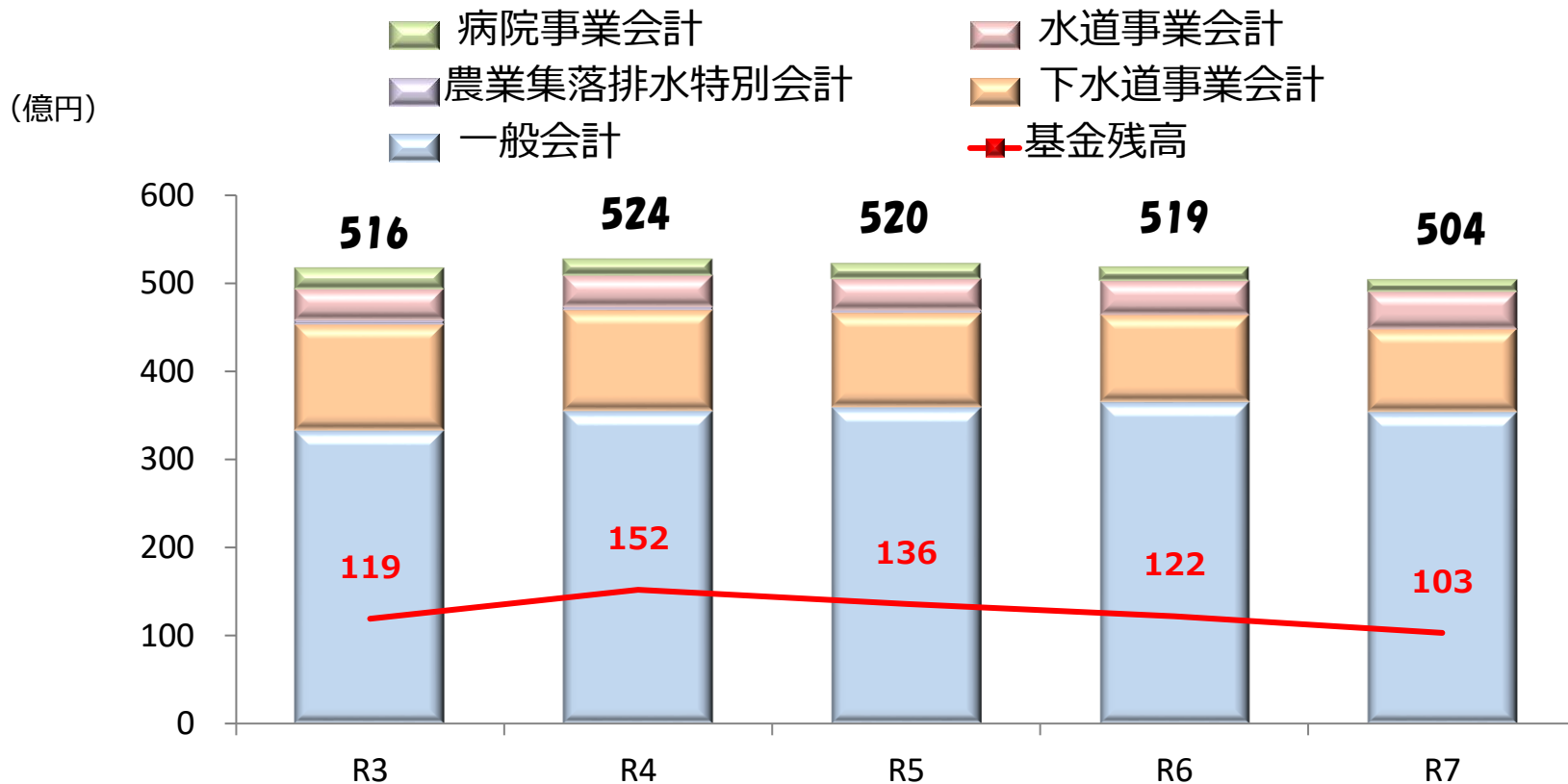
第5次財政改革プログラムでの推計

※R6年度は決算見込額。

※R7年度は当初予算に基づく年度末現在高見込額。

市債および基金残高の推移（全会計）

○下水道・病院事業会計の市債残高は、過去に発行した市債の償還終了が多数あるため減少傾向が続いています。一般会計は、環境施設更新事業や新庁舎整備事業等に伴い増加傾向が続いていましたが、令和7年度は減少に転じる見込みです。



※ R3年度からR5年度までは決算額。R6年度は決算見込額。R7年度は当初予算に基づく年度末現在高見込額。

※農業集落排水特別会計はR3で終了。